

資格試験について

本庁支部 高田 豊輔＊

福岡県の土木技術職員となり、早くも5年が過ぎようとしています。

その間、3つの土木関係資格試験（土木施工管理技士1・2級、技術士1次）を受検しましたので、「我ながら組織の空気を読めないことを書くものだ」と苦笑しながら、資格試験について書くことにしました。

まず、県職員は民間会社に比べて資格を持っている割合が低いように感じます。

多くの職員が受検資格や受検料、合格するための実務経験と知識・時間は持っていると思うので、受けて不合格になっているのではなく、試験を受ける動機が無いため受検する人自体の割合が少ないからだと思います。これは、技術士1次試験の受検者数に対する合格者率が、建設コンサルタント業の20%に対して、地方自治体職員は48%と高いことから分かります。（日本技術士会ホームページより）

対して民間では「資格手当」が動機になります。大手企業：M社のホームページを見ると、2級土木が3,000円／月、1級土木が10,000円／月、技術士が30,000円／月とありました。それだけ会社が手当を出すのは、社員の資格取得が会社の評価を向上させ、社員自身の能力も人によっては向上し、利益に繋がるからだと思われます。

対して福岡県では資格手当という制度自体が見当たりません。その理由は、タテマエが『地方公務員には資格手当がなじまない』、ホンネが『国に倣え』だと思います。

意地悪な言い方をすると我が社は『県職員の資格取得は県民の利益に無関係である』と言わないといけない立場の組織とも言えるでしょう。

また、それと同じ精神に立つからだと思いますが、私達は普段の業務の中で職務遂行能力を全て備えているかのように扱われます。組合的に当然ですがその反面、偉い人は自己研鑽しなさいと講演するのです。これは矛盾だと昔は思いましたが、5年目の今ではすっかり納得できます。どうやら、職員になって時間がたつほど資格取得が不要だと考えるようになり、更に時間がたって偉くなると逆に資格取得が必要だと考える傾向があるようで、資格取得の動機は就職（か退職）の近傍5年以内が比較的高い時期であり、それ以外の時期で受検する人はたいてい真面目な人が多いように感じられます。

もちろん人それぞれで他の動機もあるのでしょうけれど、その辺は『技術系公務員の資格取得を応援するページ』というホームページを見るときれいにまとめてあるので興味がある方はググってみられると参考になると思います。

私の場合は『試験マニアだから』が動機でしたが、無理やり殊勝な文言を吐くなら『職場の方々から図面や積算等を学んだり、業者さんから施工技術を現場で学んだり、他にもコンサルさんや県庁の方から学んだことを、自分がどれだけ身につけているかを確認するために資格取得し、県民の皆さんのためにより良い仕事をしたい』となりますが、やっぱり今の仕事をするだけなら資格が必要とは思えないのが正直な感想です。

長々と書きましたが、動機は人それぞれ何でも良くて、大事なのは試験を受けることを決めて願書を出すことだと思います。特に土木施工管理技士の場合は願書を提出した時点で試験の半分は終了していると思います。残り半分は事前の準備です。

というのが、土木施工管理技士は1級・2級ともに、『実際に自分が担当した現場でどんな問題が起こり、何を考え、どう対策したか?』という、事前に原稿を作っていないと零点だけど、準備していれば満点を取れる記述問題があります。また、他の記述問題も出題ジャンルが固定されており、試験対策勉強の効果が出やすいです。出先事務所で現場と積算を毎日経験しているなら、事前準備さえすればほぼ合格できると思います。

けれど、技術士1次試験は実務経験と事前対策に加えて、勉強が必要だと思いました。具体的には、技術者モラルに関する文系的な問題(適性科目)や工程管理などのトンチ問題(基礎科目)は、解き方を理解するのは簡単ですが、勉強していないと問題形式自体に慣れていないため取り付き方が分からず落とすというパターンに陥りやすいため特に注意が必要です。

また、共通科目では高校(理系)～大学1年レベルの数学・物理が出題されますが、特に高卒職員の方々は習ったことがない内容が出題されるため勉強が必要です。共通科目の合格ラインは「平均点以上」なので半数の受検者が合格できるシステムですが、平均点が公表されません。よって、どれくらい取れば良いかははっきりは言えませんが、体感的に45%くらいが合格ラインかな?と思いました。

ただ、共通科目は理系大学卒か一級土木施工管理技士ならば免除されるので、対策勉強をするよりも受検しない選択をする方が断然ラクです。正直、県職員で共通科目を受ける人は、私のようなマニアしかいないだろうと思います。

これまでに書いたのは個人的な対策ですが、職場の人と一緒に複数人数で同じ試験を受検することは有効な対策の一つだと思います。そういった動きが活発な福岡土木とかに転職できたら動機のきっかけになることが大きいですし、そもそも知らないことは教えてくれる人に聞くのが一番手っ取り早いです。そういう聞ける人が周囲にいないとどんな試験対策をすれば良いか分からないという方は、私で良ければ多少マニアックな試験対策と過去問をお伝えしますので、お気軽に行コミメール等でご相談下さい。

Ⅲ 共通科目

〔 科 目 〕	〔 頁 〕
A 数 学	1
B 物理学	9
C 化 学	21
D 生物学	27
E 地 学	33

$$\frac{11}{20} = 55\%$$

$$\frac{10}{20} = 50\%$$

上記の5科目のうち、あらかじめ選択した2科目（受験票に記載された2科目）について、全問（各科目で20問出題）を解答して下さい。

それぞれの「解答する科目マーク欄」に解答する科目を1つマークして下さい。

（注）

① 次のいずれかに該当する場合は、「失格」となります。

- * 受験番号を正しく記入及びマークしていない。
- * 受験票に記載された2科目以外の問題を解答。
- * 「解答する科目マーク欄」にマークがない。
- * 1つの「解答する科目マーク欄」に2つ以上マークがある。

② 1問題について解答欄に2つ以上マークした問題は、採点の対象となりません。

↑ 技術士1次の共通科目過去問
(一部マニアに人気のレア物)